

豆狸の寝言

副会長 三原幸二

業界新聞を見ていてなんともいえないうれしい見出しを見つけました。

「150万本の森づくり運動、創業150周年を迎える大手電機メーカーが、社会貢献活動の柱として国内外で東京ドーム約107個分にあたる総計150万本規模の森林整備に取り組む「150万本の森づくり」運動を実施するという。本年度から1年あたり10万本以上のペースで植林・森林整備の活動を進め目標の早期達成を目指すとのことである。

いま、森林の破壊が進み、地球全体から見ればこの森づくりの貢献度は数字上では微々たるものであろうが、これがきっかけとなってほかの企業も参加するようになれば、もっともっと大きなものになってゆくに違いないと思います。

わが社でも以前、「世界の砂漠に森をつくろう」という運動に賛同して何がしかの寄附をしていたことがあるが、その団体に不正行為があり不愉快な思いをした。それだけに、一企業が自力で森をつくろうとする心意気に感動をおぼえるのです。



売上を競ったり利益を競うのも結構だが、森林の育成や整備に各企業が積極的に取り組んでゆくようになれば、地球環境の保護にもなるし、これをきっかけにして明るいニュースが次から次へ出てくるかもしれない。そんなふうになれば、世の中が少しは平和になるのでは？いま注目をあつめている「企業の社会的責任」(CSR)も、肩肘をはずらず、こんなところから始めればいいのか、などと思った次第です。

(2006年・「森林整備」の心意気に想う)

会報誌 **NewWave** へご寄稿のお願い

「New Wave」誌は、皆さまに身近な会報誌としてご愛読していただくことを目指しています。その第一歩として、読者の皆さまからのご寄稿を数多く掲載することを計画しています。一人で心の中にしまっておくには勿体ないような面白い話や為になる話。それに、地元のグルメ情報などジャンルは問いません。

ご寄稿は、メール・アドレス「zennichi@jeda.or.jp」へ、件名「寄稿」と記入の上、送信して下さいようお願い致します。800～1000文字程度にまとめた文章に写真2～3点を添えていただければ幸いです。

各単組の組合員企業ならびに賛助会員企業の皆さまよりのお便りをお待ちしております。
全日本電設資材卸業協同組合連合会・広報委員会